



昭和47年  
昭和天皇・皇后両陛下のご来村（お野立公園）  
写真左は当時の佐藤正夫村長

# 今年 は 村誕生 60 周年 の記念すべき年

1954年（昭和29）8月1日、当時の関谷村と女川村が合併し誕生した関川村。今年の8月1日で誕生60周年を迎えました。この60年の間、さまざまな出来事がありました。この60年を当時の写真や思い出とともにふり返ります。



## ちなみに…

平成6年8月26日に竣工した  
「道の駅関川」  
「せきかわ歴史とみちの館」  
「せきかわ観光情報センター」  
が20周年を迎えます！

当時、50年後に開けようと道の駅に埋設されたタイムカプセル。何が入っているのか楽しみです！（写真左）

関川村発足60年に



村長  
平田大六

関川村発足60周年を、村民の皆さまとともに喜びたいと思います。

1954年(昭和29)、「昭和の合併」で関谷・女川、両村の合意により関川村は発足しました。お互いの歩みよりの努力や、新村名の由来など、関川村史には10ページ余を費やして、後世のために記録されてあります。(注) その時、村の人口は1万2285人でした。

発足の頃、国による財政再建指導、また「新潟地震」「羽越水害」などの大災害と、多くの荒波がありました。しかし、そのたびに、行政・議会・

村民が一つの目標に向かって心を合わせ、困難を乗り越えてきました。村民をはじめとし、先人の方々の英知とご努力に感謝しています。

2003年、村は自立の道を選びました。人口6000人余、新たな課題もあります。先人によって築かれた輝かしい歴史を手本とし、村民の皆さまのご協力のもとで、関川村の未来のために努力を重ねてまいります。

(注) 関川村「関川村史」

(1992)

関川村の未来のため  
新しいむらづくりを

合併60周年を迎えて



村議会議長  
高橋八男

60年前の昭和29年8月1日、関谷村と女川村が合併して新生「関川村」が誕生しました。関川村が誕生するに際して、当時の関係者は命名に大変苦労したとお聞きました。名前を付ける際、将来の成長と発展を夢見て、そして期待と責任を込め、「関川村」と命名したと推察いたします。

関川村の誕生以来、まさに激動の60年であったと思います。心に残るのは、38年大豪雪、42年の羽越大水害、あわせて経済の低成長に直面するなど幾多の社会情勢の変化を経験し、克服してまいりました。この間、数多くの困難を

乗り越切り業績を残し、関川村の発展に寄与された多くの先人に対し、心より敬意を表したいと存じます。

また、この記念事業をきっかけとして改めて関川村の未来を考えてみることは有意義なことです。「村民にとって安全で快適な小さくてもキラリと光る村」の完成に期待を持っていただきたいと思います。

議会といたしましては、よりよい関川村、村民福祉の実現に向かって邁進してまいりますので村民の皆さまの一層のご指導ご協力をお願いしたいと存じます。